

◆テキストの特色◆

- このテキストは、国・私立中学の入試によく出題される作家を中心とした文章を読むことで、入試に即応した読解力を身につけることをいちばんのねらいとしています。
- 豊富な記述問題を解くことで、入試に必要な読解力・表現力が養えます。
- 「ことばのきまり」・「漢字とことばの知識」で、国・私立中学の入試によく出題される漢字・文法事項も万全です。
- 模擬テストで、入試直前の総まとめと弱点の発見をしてください。

もくじ

1	ことばのきまり	2
2	物語の読解(1)	6
3	随筆の読解	10
4	説明文の読解	14
5	詩歌の鑑賞	18
6	物語の読解(2)	22
7	論説文の読解	26
8	記録文の読解	30
	模擬テストI	34
	模擬テストII	38

2

物語の読解(1)

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

15

10

5

本文

35

30

25

20

本文

問一 —— 線① 「なんの意味があるとも思わない」という父親の考えが動作に表れている部分を、文中から八字でぬき出して書きなさい。

問二 —— 線② 「もう一度言いました」とありますが、このときの為吉の気持ちとして適当なものを、次から選びなさい。

ア 今にたいへんなことがおこるにちがいない。今のうちに、はっきり知らせておかなければ……。

イ お父にもこの美しさを見てもらいたい。こんなにすばらしい風景はめったに見られないのに……。

ウ ぼくがこんなすばらしい発見をしたのだ。お父はもっとよろこん

でほしいなあ……。

工 お父はまじめに聞いているのかな。もう二度と言ってやるもんか……。

問三 —— 線③ 「自分の思っていたこと」とはどんなことですか。文中の会話から一文でぬき出して書きなさい。

問四 父親はどんな性格の人ですか。次から適当なものを選びなさい。

ア 仕事熱心で、子どもにとっては話しにくい人。

イ 何を言われてもあまり気にしない、自分勝手な人。

ウ 世間のことをいつも気にかけていて、つきあいのよい人。

エ やさしいけれど、子どもにあまり気を使わない人。

◎ 漢字とことばの知識①
次の——線のカタカナを漢字に直しなさい。

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|---|---|---|---|----|---|---|----|----|----|----|---|---|
| (1) | 春のケハイ | が | た | だ | よ | う。 | (|) | | | | | | |
| (2) | 口 | の | 中 | で | 何 | か | を | ト | ナ | え | る。 | (|) | |
| (3) | セ | ン | モ | ン | カ | の | 意 | 見 | を | 聞 | く。 | (|) | |
| (4) | 今 | 年 | の | 冬 | は | 寒 | さ | が | キ | ビ | し | い。 | (|) |
| (5) | フ | ン | キ | し | て | 事 | に | 当 | た | る。 | (|) | | |
| (6) | 恩 | 師 | の | こ | と | ば | を | 心 | に | キ | サ | む。 | (|) |
| (7) | 何 | に | で | も | カ | ン | シ | ン | を | 持 | つ。 | (|) | |
| (8) | 仕 | 事 | の | 手 | 間 | を | ハ | ブ | く。 | (|) | | | |

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

20

15

10

5

本文

40

35

30

25

問一 — 線①「おどなく立っていた」とありますが、このときの洋

の気持ちとして適当なものを次から選びなさい。

ア どうにも動きがとれずにとほうにくれる気持ち。

イ 川に落ちたことをだれにもさとられまいとする気持ち。

ウ 二度も川に落ちた自分に激しい怒りを感じる気持ち。

エ 洋次郎が助けに来てくれることをひそかに期待する気持ち。

問二 — 線②「にいちやんは察しがよかった」とありますが、洋次郎はなぜ洋が東横堀川に行っているかわかったのですか。文章中のことばを使って、二十五字前後で書きなさい。

問三 — 線③「洋のやつめ」は洋次郎のどんな気持ちから出たことばですか。次から適当なものを選びなさい。

ア 危険な川へ一人で勝手に出かけた弟を許せないと思う気持ち。

イ 自分がねらっていた魚を先にとられてしまうとあせる気持ち。

ウ いつも自分に迷惑ばかりかける弟にうんざりする気持ち。

エ 自分の持ちものを勝手に持ち出されて苦々しく思う気持ち。

問四 — 線④「にいちやんを見て、洋はなみだを流した」とありますが、それはなぜですか。次から適当なものを選びなさい。

ア これで助かったと思って安心したから。

イ 洋次郎にしかられると思ってこわかったから。

ウ だれも助けてくれなかったことが悲しかったから。

エ 洋次郎が自分のことを心配してくれたのだと思ったから。

問五 — 線⑤「事故」とは何のことですか。十字以上十五字以内で書きなさい。

問六 — 線⑥「正子は絶句した」から正子のどんな様子が読みとれますか。次から適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 話の内容が大したことではないので、反応せずにいる様子。

イ あまりのことに驚き、呆然としている様子。

ウ 面白い話なので、話の先を集中して聴こうとしている様子。

エ 夕食の支度に気をとられ、話をよく聴いていない様子。

問七 洋次郎の人物として適当なものを次から選びなさい。

ア 気が短く、乱暴な一面もある。 イ おおらかで人が良い。

ウ 弟に対して優しい一面もある。 エ 知的で行動力がある。

漢字とことばの知識②

◎ 次の漢字をひらがなに直しなさい。

- | | |
|------------|--------------|
| (1) 早急 () | (2) 類似 () |
| (3) 次第 () | (4) 遺言 () |
| (5) 知己 () | (6) 反物 () |
| (7) 体裁 () | (8) 貧富 () |
| (9) 温厚 () | (10) 有頂天 () |

は形容詞。形容詞「ない」は、それだけで一つの文節を作ることができます。また、助動詞「ない」は「ぬ」に言いかえることができます。ア〜ウは助動詞。(2)助動詞「られる」の識別問題。例文とウは尊敬の意。アは自発、イは受け身、エは可能の意。(3)助動詞「そうだ」の識別問題。例文とアは状態(様子を表すもの)、イ〜エは伝聞の意。伝聞の「そうだ」は、動詞・形容詞・形容動詞・助動詞の終止形(言い切りの形)に接続します。(4)助動詞「ように」の識別問題。例文とイは例示、アは軽い命令、ウはたとえ、エは目的の意。(5)助詞「の」の識別問題。例文とエは「もの・こと」に言いかえることができます。アは主語を示し、「が」に言いかえることができます。イ・ウは修飾語を示します。(6)形容動詞の一部である「で」と助詞「で」との識別問題。例文とイは形容動詞の一部である「で」。言い切りの形は「元氣だ」、「新鮮だ」で、「元氣な」「新鮮な」に活用させることもできます。ア・ウ・エは助詞。アは材料、ウは原因・理由、エは基準・数量を示します。

13 (1) A群エ B群オ (2) A群ウ B群ア (3) A群イ B群イ

考え方 文学史については、作品と作者の組み合わせだけでなく、代表的な作品の内容や冒頭(ぼうとう) (書き出し)の部分についても、チェックしておきましょう。

2 物語の読解 (1)

(6~9p)

1 問一手を休めもせずに 問二ア 問三暴風になってこぬかしら?
問四エ

解説

解説

漢字とことばの知識①

- 2 (1) 気配 (2) 唱 (3) 専門家 (4) 巖 (5) 奮起 (6) 刻 (7) 関心 (8) 省
問一 ア 問二 (例) 自分の魚すくい網がなくなっているのに
気がついたから。 問三 エ 問四 ア 問五 (例) 洋が東横堀川に
落ちたこと。 問六 イ 問七 ウ

解説

漢字とことばの知識②

- (1) さつきゅう(そうきゅう) (2) るいじ (3) しだい (4) ゆいごん
(5) ちき (6) たんもの (7) ていさい (8) ひんぶ (9) おんこう
(10) うちょうてん

次講座